

川崎支部便り 第72号 (2024年01月)

オープンで各自が主役：川崎支部

川崎支部支部長 山岸一雄 (執筆：大藪・山岸)

人生を豊かに (雑学のすすめ)

【時の鐘とは？－落語の時そば？】

時の鐘と不定時法とは？

江戸時代の一般庶民が使っていたのは時の鐘による不定時法で、その読み方は十二辰刻とは違う独特なものです。空が白みはじめ、大き目の星がパラパラと見えるくらいで、室内で手の筋が3本くらい見えるようになったら・・・それが夜明けで「明け六つ (あけむつ)」とし、日の出前の三十分くらいをいい「暮れ六つ」は日没後三十分くらいをいいます。とにかく「だいたい」(←これがだいたい)を基本に、明け六つから暮れ六つまでを6等分、暮れ六つから明け六つまでを6等分します。

「明け六つ」の次は「朝五つ」「朝四つ」と減っていき、午(うま)の刻に「昼九つ」に。午(うま)の刻は現在でも「正午(しょうご)」と使われていますね。「昼九つ」の後は「昼八つ」「昼(夕)七つ」となって「暮れ六つ」に。「暮れ六つ」の後は「夜(宵)五つ」「夜四つ」となり「暁(あかつき)九つ」に。そして「暁八つ」「暁七つ」「明け六つ」となります。数字が減ったり、急に増えたりしてなんだか変ですね。

午と子を「九つ」としたのは、昔の人は「九」を神聖な数としていたことからきているとか。「九つ」の次の刻は9の倍数18、27、36、45、54と計算したのですが、数が大きすぎたため十の位を省略して表すことにしたのだと言います。「九つ」の次を一八ではなく「八つ」次の二七は「七つ」その次は三六で「六つ」四五で「五つ」五四で「四つ」と一桁だけを使って表したのだそう。数を一桁にして、時の鐘を打つ数をわかりやすくしたというわけだったのです。

【当世 建築学生気質とは？】(大藪元宏 (S59年 建築卒))

私が武蔵工大建築学科を卒業してから早30年が経ちました。当時は、設計課題が矢継ぎ早に出され、長期休暇が始まるのも他大学より遅く、条件の良いアルバイトは大体残っていませんでした。数えきれないくらい徹夜をして課題の図面や模型を作っては、提出時間ギリギリに大学前の坂を急ぎ足で下り、教室に駆け込んだのを今でも鮮明に覚えています。

さて、30年の時を経て、現在の建築学生のキャンパスライフはどうなっているのでしょうか。私は20年くらい前から武蔵工大、日大、明星大学と非常勤講師をしながら設計活動をしてきましたが、現在、明星大学建築学部建築学科で特任教授をしております。どの大学の建築学科も、学生は基本的には私の学生時代とやっていることは同じです。

私が学生に教える時に、軸にしていることが有ります。それは大学で教える際は、自分の学生時代に教えてほしかったことや、複数の大学で教えてみて足りないと感じた事を総合的に考察して、1年生から3年生までの設計課題の内容を他の先生方と相談して決めています。当然、年々少しずつ求める課題のレベルが上がってゆきますが、急激に難易度を上げずに、個人の理解力や表現力を見極めながら進めています。そこで分かったことは、常に我々の想像や期待以上のものが毎年出てくるということです。最初は「これは無理なんじゃないか」とか「多分できないだろう」と思っていたも、生徒

を信じ出題すると必ずいいほうに裏切ってくれます。むしろ、私の時代よりも、**出てくる案の多様性** **だったりクオリティー**は今の学生の方が圧倒的に優れています。今は「迷ったら信じる」を合言葉に、日々学生の出してくる案に対して**真剣勝負**で向き合っています。

それから以前と大きく変わった点は、**パソコンによる CAD** (Computer Aided Design—コンピュータ上で図面の作成を行うツール) や **3D による CG の一般化**です。40 年くらい前は大手設計事務所が数億円をかけて 1 部屋丸ごとコンピュータ室とし、それでも今と比べるとありえないくらい作図が遅く、CG に至っては一晩稼働させ続けてやっと翌朝 1 枚できる程度で、とても実務で機能するような代物ではなかったようです。(三菱地所設計で日本初の **CAD 設計開発**を担当した同僚教授の話)

ところが今は、学生でも 2 年生の後半くらいから当然のように**ノートパソコンで CAD の図面**を描き、**3D の CG で空間を検討**します。設計課題の出題内容にそう大きな変化はありませんが、表現のツールに隔世の感は否めません。

ただし、気を付けて指導している点が 1 つあります。CAD ソフトは 2 次元の製図ソフトもあれば、いきなり 3 次元情報の入力から入るものもあります。CAD は、自らが考えた案を具体的に他者に伝える「**鉛筆がわりの道具**」ですが、往々にして **CAD 初心者が陥るのは、CAD に使われてしまう**ことです。使用するツールのアイテムの範囲内でしか設計できなくなることが最も懸念されることで、まさに「**道具に使われている**」状態です。これだけは避けたいので、**手によるスケッチ**からはじめ、**模型**によるスタディーを繰り返し、そのうち CAD による図面その他のプレゼンテーションシートの作成にかからせます。

学生間の情報伝達スピードとデジタルツールの習得スピードは年々早くなり、今や、課題の発表では、2 年生の後期には自分で設計したものを動画で発表する生徒も毎年 2~3 人現れています。今の建築学生は物事に取り組むときに若干クールで淡泊にはなっていますが、それ以上に進化し続け、世の中に対しても冷めた目で見ることなく、**前を向いている意欲的な学生**はたくさんいます。私も設計の実務以外に日々、学生から刺激を受け続け、**相乗効果を実感**しています。



勤務する明星大学キャンパス（東京都日野市）



設計製図授業風景

支部の活動

- ①都市大生によるアカペラ・コンサート (サークル Groove) : 2023.12.09 (土) 14 時から
夢キャンパス (二子玉川駅前ライズビル 8 階) (対面と Zoom)
参加者 73 名、その内一般者は 18 名 大盛況でした。
- ②新年会のお知らせ (2024.01.13 (土) 17 時)
皆様との交流を進め、今後の活動に反映させていただきます。

- ・日時：2024年1月13日（土）17時から
- ・場所：「龍華飯店」 溝の口駅北口から徒歩約8分（当日は16時45分に溝の口駅北口に集合）
[本格中華・龍華飯店・川崎市高津区溝口 \(ryukahanten.co.jp\)](http://ryukahanten.co.jp)
- ・参加費：男性 4,000円程度 女性:2,000円

③川崎スカイフロントの見学会（最先端技術の研究都市）：2024.04頃の平日

ご存じですか

【老いて今日も上機嫌！】

「ひみこの歯がいーぜ」一噛むことのメリット 一生懸命に食べることを意識すると自然と良く噛むようになります。「ひみこの歯がいーぜ」は学校食事研究会の標語です。「ひ＝肥満防止になる（能の満腹中枢が刺激され、食べ過ぎを防ぐ）」、「み＝味覚の発達に役立つ（味細胞が刺激され、食べ物の素材の味がよくわかる）」、「こ＝言葉の発音がはっきりするようになる（噛む筋肉や表情筋が鍛えられ、表情が豊かになり、発音が良くなる）」、「の＝脳の発達を促す（脳細胞を刺激し、脳の血流も良くすることで脳を活性化し、認知症予防効果が期待出来る）」、「歯＝歯の病気予防になる（唾液が多く出て、細菌感染を防ぎ、虫歯や歯周病を防ぐ）」、「が＝がんの予防に役立つ（唾液に含まれているペルオキシダーゼという酵素には、発がん物質の作用を消す働きが期待されている）」、「いー＝胃腸の働きを促進する（良く噛むことで消化酵素が多く分泌される）」、「ぜ＝全身の体力増進と全力投球にプラスになる（硬いものを噛み砕く爽快感はストレス解消になり、歯を食いしばることで力が湧き、日常生活への自信が生まれる）」こととなります。

浴室やトイレ等で急激な温度差により、血圧が大きく変化する現象をヒートショックといい、これにより失神、脳卒中、心筋梗塞等が引き起こされることがあります。ヒートショックにより死亡するひとは毎年2万人近くもいて、交通事故死の約4倍にもなります。

（石川恭三 河出書房新社）

次号もお楽しみに。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

問合せ・連絡先：川崎支部 幹事長 松本浩一

TEL：090-9363-6082 E-mail：kawa_matsu51@v00.itscom.net